

※本票（別添 1 - 2）は公表資料として活用する。（取組状況に応じて随時、修正するものとする）。

令和 3 年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業計画（報告）書

※これから在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関等の連携強化を支援する取組みについて記載するものとする。
 なお、必要に応じ、後方支援病院や在宅医療専門診療所（機能強化型在宅療養支援診療所を含む）などの支援（補完）を得て、在宅医療を提供する切れ目のない診療体制の仕組みづくりに取り組むものである。

【地域で支え合う医療機関等の連携体制を構築するために必要な 3 つの取組】

取組事項	取組内容	現 状 (事前協議申請の前月 から過去 6 箇月間の 状況)	取組目標 (事前協議申請の月 から向こう 6 箇月間の 取組)	実 績 (事前協議申請の月 から翌年 3 月末までの 取組)
<p>1 これから在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関等の連携強化を図るための取組</p> <p>※グループ内の取組に関すること。</p>	<p>在宅医療推進に取り組む 2 つの医療機関と在宅医療をサポートする訪問看護ステーションが在宅医療の相談に応じ、必要な患者情報の共有化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報共有を図るツールとして iPad を使用し、管理はあいざわクリニックと大洗海岸病院が行う。 在宅療養者で必要な方に対しパルスオキシメーターの貸出しをする。3 台の管理は、訪問看護ステーション大洗が行う。 医療機関と後方支援病院、訪問看護ステーションの情報共有化を行い、夜間や急変時の対応に対応できる体制を構築している。また、容態の急変時や検査等の必要な際には、後方支援病院が求めに対応できる連携体制を構築することで、切れ目のない在宅医療提供を目指している。 患者中心の在宅医療をすすめるために関係機関同士の連携を深め、顔の見える関係づくりを図りながら、在宅医療推進のための話し合いや、ケースカンファレンスを行っている。 大洗町の行政が、市民への窓口として機能しながら、在宅医療の拡充をサポートしており、市民への在宅医療の啓蒙に努めている。 	<pre> graph TD A[県医師会] <--> B[あいざわクリニック] A <--> C[さくらみちクリニック] B <--> C B <--> D[大洗海岸病院] C <--> D D <--> E([訪問看護ステーション大洗]) style E stroke:#000,stroke-width:2px </pre>		
<p>2 在宅医療を提供する連携体制として必要な拠点機能を担う取組</p> <p>※地域との連携に関すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大洗町における看取りの体制強化には、窓口機能の拡充が重要である。そのため本グループの各医療機関、訪問看護ステーションならびに大洗町役場が共に協議できる機会を設け、今後の町の看取り窓口の設定について検討していく。計画として、今年度に 2 回の看取り窓口体制検討会議を設け実施する予定とする。 必要に応じて、大洗地区の医療機関等に働きかけ、在宅医療とともに町全体の医療・介護・福祉を支えるネットワークを構築するために、大洗町在宅医療・介護連携推進事業協議会への連携・協力を行っていく。 	<p>0 回</p> <p>看取り窓口体制検討会議開催</p>	<p>2 回</p> <p>看取り窓口体制検討会議開催</p>	<p>1 回</p> <p>看取り窓口体制検討会議 3/22 (第 1 回大洗町在宅医療・終末期医療に関する相談体制検討会)</p>
<p>3 在宅医療についての普及啓発活動等の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大洗地区においては、町民向けの在宅医療の普及啓発に注力する必要性があるという課題から、市民向け配布用パンフレットを作成する。 発行部数は、過去に介護保険の普及に使用した印刷部数から必要数を割り出し、また配布方法は大洗地区の自治会を通じ市民へ配布する予定で、企画していく。 大洗町からの協力・連携のもと、すすめていく。 	<p>0 回</p> <p>在宅医療普及啓発パンフレット作成会議開催</p>	<p>2 回</p> <p>在宅医療普及啓発パンフレット作成会議開催</p>	<p>4 回</p> <p>在宅医療普及啓発パンフレット作成会議 (12/23 1/6 3/3 3/22) パンフレット 5300 部発行</p>

※「参入促進・連携（グループ化）の取組効果」の公表の取扱について、1から2の事項については個々の医療機関の情報は公表せず、連携する医療機関内の合計数を公表する。また、3の事項（死亡患者数）については公表の対象とせず、医療機関からの報告のみとする。

【参入促進・連携（グループ化）の取組効果】

1 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (事前協議申請の前月から過去6箇月間の状況)	取組目標 (事前協議申請の月から向こう6箇月間の取組)	実 績 (事前協議申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）	あいざわクリニック	0名	3名	0名
	医療法人さくらみちクリニック	55名	55名	63名
		名	名	名
		名	名	名
	連携する医療機関内の合計	55名	58名	名

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数（※実人数を記載）を記載。

2 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (事前協議申請の前月から過去6箇月間の状況)	取組目標 (事前協議申請の月から向こう6箇月間の取組)	実 績 (事前協議申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数	あいざわクリニック	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)	合計回数: 18回(うち往診: 0回、訪問診療: 18回)	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)
	医療法人さくらみちクリニック	合計回数: 810回(うち往診: 178回、訪問診療: 632回)	合計回数: 810回(うち往診: 178回、訪問診療: 632回)	合計回数: 880回(うち往診: 168回、訪問診療: 712回)
		合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)
		合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)
	連携する医療機関内の合計	合計回数: 810回(うち往診: 178回、訪問診療: 632回)	合計回数: 828回(うち往診: 178回、訪問診療: 650回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計回数を記載。

3 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (事前協議申請の前月から過去6箇月間の状況)	実 績 (事前協議申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数	あいざわクリニック	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)
	医療法人さくらみちクリニック	死亡患者数: 5名(うち医療機関以外: 3名)	死亡患者数: 9名(うち医療機関以外: 5名)
		死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)
		死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)
	連携する医療機関内の合計	死亡患者数: 5名(うち医療機関以外: 3名)	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）を記載。

4 グループ化した医療機関が後方支援病院等（グループ内外問わず）への在宅医療患者の診療の紹介数、急変時の受入数及び後方支援病院等からの逆紹介数

	現 状 (グループ化前 (R2年度 (A)))	取組目標 (令和3年度)	実 績 (グループ化後 (R3年度 (B)))	差 (B) - (A)
紹介数	86件	100件	229件	143件
急変時の受入数	一件	一件	一件	一件
逆紹介数	124件	120件	343件	219件